

チーム えがお



《学校教育目標》『自ら学び 心優しく たくましく生きる児童の育成』
 ☆「かしこく」自ら学ぶ子 ☆「やさしく」心豊かな子 ☆「たくましく」やりぬく子

発行者:校長 岡田 達也

～ えがお かがやき けんばる 学校 けんえんだん 「チーム北川」～

1学期を振り返り 2学期につなげよう!

昨日18日、九州南部（奄美地方を除く）、九州北部、中国、四国、近畿、東海で、続々と梅雨明けの発表がありました。中国地方では、平年より3日早く、昨年より6日早い梅雨明けとのこと。いよいよ夏本番となりました。4月6日（水）から始まった1学期も、今日で終わりました。子どもたちは、明日から43日間の長い夏休みに入ります。夏休みの過ごし方は、2学期につながるとも言えます。子どもたちにとって、どんな1学期だったのか。何をがんばって、何ができなかったのか。ぜひ、通知表を活用してご家庭でも話し合っただけいただければと思っています。

この1学期、登校日数は1年生は69日、2年生以上は70日間ありました。4月6日（水）に始業式、そして7日（木）に入学式を行い、109人の全校児童と、19人の教職員で、平成28年度の1学期をスタートしました。全校での大きな行事としては5月22日（日）の運動会がありました。「全力で 最後までやりぬく 109人の光」というテーマのもと、子どもたち全員が力を合わせて、つながり合って最高の演技を見せてくれました。そして、生活においては「北川小学校 ABCD」の原則の推進、特に月毎の生活テーマの実践に力を入れて取り組みました。授業においては、「北川小学校『学び』のABCD」、「『聞き方』『話し方』のABCD」を作成し、すべての学級で落ち着いて学習に取り組むことができるよう指導して参りました。そして、家庭学習では「家庭学習のABCD」をもとに、家庭学習（宿題&自主学習）の充実を図ってきました。その他にも、地域探検や社会科見学を取り入れたり、地域のみなさんをはじめ外部講師をお招きした学習を取り入れたりして、子どもたちが実感を持って理解できるようにしてきました。

この69日間、70日間の中で、子どもたちはいろいろな人に出会い、いろいろなことを体験することができました。保護者のみなさんのご協力を得て、月毎の生活テーマにも真剣に取り組むことができました。その中で、子どもたちはいろいろなことを考え、学び、ときには悩み、それを乗り越えてきました。1学期の学びは、どの子にも蓄積されています。通知表には表しきれないものがたくさんあります。ぜひ、子どもたち一人一人、そして学級の仲間と一緒に1学期をしっかりと振り返ってほしいと思います。人は、自分のしたことや過ぎ去った出来事からいろいろなことを学び、それを次に活かすことができます。だからこそ、これからを、未来を、よりよいものにしていくことができるのです。

1学期の終業式では、子どもたちに次のような話をしました。



今日で1学期が終わります。

1学期の始業式で、校長先生がみなさんに話したことを覚えていますか。新しい学校教育目標『自ら学び 心優しく たくましく生きる児童の育成』のこと、そのためには、当たり前のことをばかにしないでちゃんとすること、一人一人が「もっとつながり合う」こと、「努力のたし算」と「協力のかけ算」を大切にしてほしいという話をしました。どうですか。みなさんは、この1学期間、「かしこく」自ら学ぶことができたでしょうか。「やさしく」心豊かに過ごせたでしょうか。「たくましく」やりぬくことができたでしょうか。校長先生は、1学期のみなさんの様子を見て、みんな少しずつ成長しているなあと感じています。でも、みなさんはまだまだ成長する力を持っています。一人ではできないことが、友達としっかりと関わり合うことで必ずできるようになります。成長するためには、努力とみんなの協力が欠かせません。

明日から、43日間の長い夏休みに入ります。夏休みは、自由な時間ができ、日ごろできない多くのことを体験することができます。しかし、その反面、なにもしなくだらだらとした生活になることもあります。担任の先生から渡された夏休みの生活表などをうまく活用して、計画的にすばらしい夏休みを過ごしてほしいと思います。夏休みを前に、みなさんに話しておきたいことがあります。

みなさん、これは何のマークか分かりますか。これは「オリンピックのシンボルマーク」です。運動会の組体操で、5・6年生が表現していましたね。オリンピックは、4年に1度行われるスポーツのお祭りです。このオリンピックのマーク描かれている5つの輪は、世界にある5つの大陸、アジア大陸、ヨーロッパ大陸、アフリカ大陸、南北アメリカ大陸、オセアニア大陸」を表しています。世界が、世界の人々がつながって、1つになるということを表しています。オリンピックは、今から2800年くらい前にギリシャという国で始まったと言われています。これを「古代オリンピック」といいます。大昔のギリシャでは、オリンピックのある年は戦争をしていますが、戦争をするのをやめてオリンピックに参加しなければならなかったそうです。オリンピックが「スポーツのお祭り」だけでなく、「平和のお祭り」でもあるのは、こんなところに理由があるのです。現在のオリンピックは、「近代オリンピック」をよばれ、フランス人のピエール・ド・クーベルタン男爵が呼びかけ、今から120年ほど前に開かれたアテネ大会がもとになっています。

今年は、その4年に一度行われる「オリンピック」と、障害をもっている人々が出場する「パラリンピック」があります。どこで行われるか、知っていますか。ブラジルのリオデジャネイロという街で、8月5日～8月21日の17日間開かれます。南アメリカ大陸で、初めて開かれるオリンピック・パラリンピックです。みなさんは、どんな種目、どんな選手に注目していますか。

校長先生がぜひみなさんに応援してほしい選手がいます。それは、男子BMXへの出場が決まった、笠岡市出身の長迫吉拓(ながさこ よしたく)選手です。BMXは、ジャンプやコーナーがある荒れたコースで順位を競う自転車競技です。長迫選手は、笠岡湾干拓地のBMXコースで4歳から競技を始め、9歳で世界選手権日本代表に選ばれ、初めて海外のレースに出場しました。現在はスイスに住み、世界中の大会に出場してがんばっています。こんな身近にオリンピック選手がいるのは、本当に素晴らしいことです。どんな困難にも負けず、夢をあきらめずに努力し続け、笠岡市では初めてのオリンピック選手となりました。長迫選手にとってオリンピック出場は最終目標ではなく、夢の実現の途中の出来事ではないでしょうか。自分の夢をもち、あきらめずに努力し続けることの大切さ、その可能性の素晴らしさを実感することができます。もしかしたら、将来、みなさんの中から、オリンピックに出場する選手が出るかもしれません。そのためには、長迫選手のように夢をあきらめない「強い心」を持って努力すること、そしてその夢や努力を支える周りの「優しい心」が必要です。

みなさんも、当然、長迫選手をはじめ日本チームの選手たちを応援すると思いますが、オリンピックは「平和のお祭り」でもありますから、一生懸命がんばっているいろいろな国の選手も、一緒に応援してほしいと思います。4年後の2020年(平成32年)には、東京でオリンピック・パラリンピックが開かれます。今から楽しみですね。

それでは、事故のない安全で楽しい夏休みを過ごしてください。2学期の始業式にはみんなそろって、元気な顔を見せてくれることを願っています。これで、1学期終業式の校長先生のお話を終わります。素晴らしい夏休みを過ごしてくださいね。

保護者の皆様には、学校行事やPTA活動等で、大変お世話になりました。ありがとうございました。皆様のご期待にお応えできるよう私たち教職員一丸となって努力して参りましたが、まだまだ充実・改善すべき点も多々あったと思います。私たちもこの夏休みを有意義に活用し、学校として指導力の向上に努め、2学期に備えていきたいと考えております。

「発見！ 北川！」 地域を学ぶ！（6年生）

6年生は、昨年度まで3学期の総合的な学習の時間に行っていた「発見！ 北川！」の学習を1学期に変更して取り組んでいます。子どもたちは、北川地区に残る史跡の中から各テーマごとにグループを作り、みんなで協力して調べて模造紙等にまとめました。調べる段階では、「北川の昔を訪ねる会」のみなさんから、写真や地図、資料等を使って、北川地域の史跡等についていろいろと教えていただきました。

そして、先週の15日(金)の3・4校時に、お世話になった北川の昔を訪ねる会の5名の方々をお招きして、発表会を開催しました。発表後には、5名の皆様からひと言ずつ感想やアドバイスをいただきました。夏休みには、ぜひご家族と一緒に地域の史跡を巡ってみてはいかがでしょうか。ふるさと北川を知ることは、郷土愛を深める第一歩だと思います。



